

特別展・関連事業ふるさと講座特別版を実施しました！

「北の開拓地で生命をむかえる

～拓殖産婆と開拓保健婦たちの足跡～別海町お産の歴史～」

特別展は、令和2年2月4日(火)～16日(日)別海町図書館ロビーにて実施しました。たくさんのご来場ありがとうございました。感想などいただきましたので、ご紹介いたします。

○この地域の周産期死亡などが昭和40年代まで高く、母子センターの設立と共に改善したこと、妊産婦死亡がなかったことに助産師さんたちの頑張りを見せていただきました。

○簡潔でわかりやすい展示でした。けっこう展示物を見ている人が多い様に感じました。図書館から産婆研究会で出した本を借りましたが、今回の特別展で拓殖産婆、開拓保健婦さんが献身的に地域で奉仕している姿を再認識しました。これからも寄贈されたものを利用して特別展が開かれることを期待しています。



特別展関連事業として、ふるさと講座特別版として、令和2年2月22日(土)別海町郷土資料館にて講師に別海町拓殖産婆研究会 清水節子さん、小泉久美子さんを迎え、参加者21名で実施しました。別海町開拓時代の様子や拓殖産婆・開拓保健婦が設置された状況を特別展パネルなどを使用しながら説明いただいた。取材中の様子でわかったことやエピソードを交えながらの説明に大変好評でした。感想などもいただきましたので、ご紹介いたします。



○今日は大変興味深いお話をありがとうございました。うずもれた産婆様のお仕事を掘りおこして日をあてて下さり本当に感激いたしました。その深い流れが別海の大地を広げたように私達、昭和45年母子センターで4人の子供をとりあげて頂き、この地で何の不安もなくお産を出来たことに大変感謝しております。本当にありがとうございました。

○本を読ませて頂いた時も感動しましたが、本日お二人から色々とお話をきいて、深く感銘しました。本当にありがとうございました。

令和元年度特別展移動展のお知らせ！

下記のとおり移動展を実施します。見逃した方、もう一度よく見たい方ぜひご覧ください。

- ・ 東公民館 3月5日(木)～12日(木)
- ・ 西公民館 3月14日(土)～23日(月)
- ・ 中央公民館 4月1日(水)～12日(日)

ふるさと講座・自然系第3回目 冬の野鳥観察会

世界最高齢のオオハクチョウを探そう！を実施しました。

令和2年2月2日（日）町立中春別中学校校長藤井薫氏を講師に迎え、参加者13名で実施しました。郷土資料館にてレクチャーの後、風蓮湖に向かいました。途中オオモズ2羽が姿を現しなかなか見ることが出来ない鳥と解説を受けました。

風蓮湖では、オジロワシ・オオワシが推定で500～600羽見る事が出来、特にオオワシは2,000羽ぐらいいしか生息していないので、その内の1割を見ていることになるそうです。

北上し春別川河口にて世界最高齢のオオハクチョウを探しました。足に標識があり、右に付いているのが、23歳、左についているのが27歳で、陸地に上がらなければ標識は確認出来ないのですが、少し汚れているオオハクチョウが世界最高齢だとの説明を受けました。尾岱沼漁港ではケイマフリを見る事が出来ました。



最後に飛雁川周辺で、先日日本ではじめて確認されたハクトウワシを探しに行きましたが、残念ながら見る事は出来ませんでした。観察できた鳥は下記の通りです。

オオモズ・オジロワシ・オオワシ・トビ・オオハクチョウ・ケイマフリ・クロガモ・マガモ・ウミアイサ・カワアイサ・オオセグロカモメ・シロカモメ・カモメ・セグロカモメ・ワシカモメ・アトリ・オオアカゲラ・ゴジュウカラ・ハシブトガラス・ハシボソガラス・スズガモ・コオリガモ・ハシビロガモ・ハシブトガラ・スズメ・ツグミ・コガモ・ホシハジロ・ヒヨドリ・シジュウカラ（30種類）



別海町郷土資料館だより No.248

発行日 令和2年3月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

コロナウィルスの影響が拡大しています。今年度の当館事業はすでに終了済みで一安心しているところですが、いつ終息するか目途かたない状況で、来年度事業にも影響がでそうです。(K.I)